

2026年4月3日

株式会社ディーカレット DCP
GMO あおぞらネット銀行株式会社
アビームコンサルティング株式会社

PRESS RELEASE

「トークン化預金の銀行間決済」の取り組みが 金融庁「FinTech 実証実験ハブ」の支援案件に採択

株式会社ディーカレット DCP（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO 兼 COO：平子 恵生）、GMO あおぞらネット銀行株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役会長：金子 岳人、代表取締役社長：水町 哲）、アビームコンサルティング株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山田 貴博）は、トークン化預金を用いた内国為替における銀行間決済を高度化する取り組みが、金融庁「FinTech 実証実験ハブ」の支援案件に採択されたことをお知らせします。

トークン化預金(Tokenized Deposit、以下 TD)や、ステーブルコイン(Stablecoin、以下 SC)等、ブロックチェーン技術を活用した新しいオンチェーン*での決済が、グローバルで急速に社会浸透しています。その際に論点となるのが、マルチバンク対応です。例えば、複数の銀行が預金をトークン化し、銀行間をまたいでユーザーが TD を移転できるようになると、その銀行間決済をどのような方法で行うかが論点となります。

本実証では、「オンチェーンでのユーザー間取引は、その銀行間決済もオンチェーンで完結させる」という基本的な考え方のもとで検証を進めていきます。

すなわち、複数銀行にまたがるユーザー間での TD の送金にかかる銀行間決済を、オンチェーンで行うことを想定しています。24時間365日、全ての取引を RTGS（Real-Time Gross Settlement：即時グロス決済）にすることで、決済リスクや必要となる流動性、業務負荷等を低減することを目指し、その適法性、有用性、実現性等の観点から実証していきます。

検証する実現方式は主に2つです。第一に、民間銀行の1行が幹事行となり、TD上のユーザー間送金と幹事行内におけるTD上の銀行間決済を同時に行うTD幹事行方式、第二に、TD上のユーザー間送金に関する銀行間決済を、SCを活用して行うTD-SC連携方式です。

2026年3月3日、FIN/SUM（フィンサム）2026の中で、日本銀行植田総裁が「中央銀行マネーのトークン化」の可能性について言及されました。本実証では、そうした動向も注視しつつ、今後の議論や検証に積極的に関わっていく所存です。

本実証には多くの金融機関が参加し、次世代金融を支える日本の決済インフラという観点から、銀行間決済のリスク低減や新たなビジネス機会の創出等について、検討を共同で推進していきます。

実証実験の参加企業（五十音順、敬称略）

区分	役割	企業名
申請者 (3社)	①申請代表	株式会社ディーカレット DCP
	②代表銀行	GMO あおぞらネット銀行株式会社
	③事務局	アビームコンサルティング株式会社
その他 参加者	④参加予定銀行	株式会社北陸銀行 ※上記銀行のほか、複数の銀行が参加 (各行意向により、現時点で銀行名は非公表)

*オンチェーン (On-chain) : ブロックチェーン上で実行・記録される高速・低コストの取引

参考：金融庁「FinTech 実証実験ハブの設置について」

<https://www.fsa.go.jp/news/29/sonota/20170921/20170921.html>

■会社概要

企業名：株式会社ディーカレット DCP

URL：https://www.decurret-dcp.com

所在地：東京都千代田区富士見 2-10-2

代表者：代表取締役 社長執行役員 CEO 兼 COO 平子 恵生

事業内容：デジタル通貨事業/電子決済等代行業者 関東財務局長（電代）92号

企業名：GMO あおぞらネット銀行株式会社

URL：https://gmo-aozora.com/

所在地：東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 渋谷フクラス

代表者：代表取締役会長 金子 岳人、代表取締役社長 水町 哲

事業内容：銀行業

企業名：アビームコンサルティング株式会社

URL：https://www.abeam.com/jp/ja/

所在地：東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー

代表者：代表取締役社長 山田 貴博

事業内容：マネジメントコンサルティング、ビジネスプロセス コンサルティング
IT コンサルティング、アウトソーシング

以上